

10 インフォメーションマネジメントセンター関係

(1) 事務系仮想化サーバの導入

平成 27 年 6 月中旬から事務系仮想化サーバの導入準備を開始。
機器類の納品が完了後に部署毎にログインアカウントを作成。
平成 27 年 10 月に部署内で新しいオフィスの使用職員を対象にテスト運用開始。
平成 27 年 12 月に運用開始。

(2) オープンソフトオフィスの普及促進

支出伺い等の内部向け回覧文書を LibreOffice 版の文書様式へ変換
不明点についての問合せを受付し、とりまとめて回答を全教職員に配信。

(3) 学生ネットワーク VPN の普及促進

利用する学生向けに VPN 説明会を実施 (50 人が参加)

(4) IMC ミニ情報通信の創刊

オープンソフトオフィスの導入の経緯について配信
MicrosoftOffice と LibreOffice の違いについて配信
LibreOfficeCalc の基本的な使用方法と問合せへの回答を配信
LibreOfficeWriter の基本的な使用方法と問合せへの回答を配信

(5) 機器の廃棄処分

平成 27 年 7 月 30 日に機器廃棄処分を実施。
今回は教育研究棟 1F 階段下倉庫と教育研究棟 2F 奥倉庫内の機器を対象とする。

11 公益総合研究センター（マルチプロジェクト研究機構）の活動

公益総合研究センターは、「第 1 期吉村プラン」に基づき、平成 27 年 12 月 22 日付で「東北公益文科大学マルチプロジェクト研究機構」に改組された。

I. 公益ビジネス研究プロジェクト

○公開シンポジウム「内川学 7×地域づくり交流会 『内川』と『まち』を考える」の開催

日時：平成 27 年 2 月 27 日（土）13:30～16:00

会場：東北公益文科大学鶴岡キャンパス 大学院ホール

事例発表：國井美保（東北公益文科大学大学院公益学研究科修士課程修了生）

「内川学研究・拾遺」

佐久間麻都香（鶴岡ナリワイプロジェクト柿守人）

「鶴岡市黄金地区の取組み」

小林仁（元気な山・里そうぞう隊事務局）

「庄内町立谷沢地区の取組み」

渡部正芳（鶴岡舟番所代表）

「鶴岡舟番所の取組み」

地域づくりトーク：高谷時彦（東北公益文科大学大学院特任教授）

阿蘇裕矢（東北公益文科大学特任教授）